

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	車両事務所施設維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約	車両センターの移転場所を検討し、方向性を確定後速やかな移転改築を目指します。また、センターの跡地利用については子育てや人口対策なども検討し有効な活用方法を決定します。	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・車両センター事務所及び車庫の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) ・車両センター事務所及び車庫
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・迅速且つ適切な道路維持管理及び除雪対応を行うための拠点として、施設の維持管理を行う。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・施設を適切に維持管理することで迅速な道路維持管理が図られ、道路利用者の安全確保と道路利用に係る満足度が向上する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 管理経費	円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 施設数	箇所
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 管理経費	円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	39,578	39,578	40,471	40,000	40,000	40,000
	一般財源	円	1,329,205	1,526,577	1,474,589	1,521,000	1,521,000	1,521,000
	事業費計(A)	円	1,368,783	1,566,155	1,515,060	1,561,000	1,561,000	1,561,000
	人件費							
	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
	人工数(業務量)	人工	0.0816	0.0757	0.0739			
	人件費計(B)	円	634,813	590,305	592,563			
トータルコスト(A+B)	円	2,003,596	2,156,460	2,107,623				
活動指標	①	円	1,368,783	1,566,155	1,515,060	1,561,000	1,561,000	1,561,000
	②							
	③							
対象指標	①	箇所	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
成果指標	①	円	1,368,783	1,566,155	1,515,060	1,561,000	1,561,000	1,561,000
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	-	-	52.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 昭和46年建築の現車両管理センターは、各施設共に老朽化が進んでおり、また、建築基準法の新耐震基準を満たしていないことから、早期の移転改築が必要である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 老朽化している車両管理センターの移転改築に向け、スケジュールを整理し、早期の移転改築を推進する。
--	---

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	占用許可・使用料徴収事務(道路・河川)	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 事前協議、申請書受理・協議、審査及び決定、許可書送付、占用更新を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、占用許可及び使用料徴収事務を適切に行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.2771	0.2748	0.2747			
人件費計(B)		円	2,155,717	2,142,877	2,202,668				
トータルコスト(A+B)		円	2,155,717	2,142,877	2,202,668				

事務事業名	町道・歩道・駐車場等維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町道・歩道・駐車場を安全に使用するための維持管理事業であり、町道草刈、清掃、区画線、標識、スノーポール、防雪柵、橋梁等の維持管理。
2. 対象(何を対象にしているか) 町道、歩道、駐車場、橋りょう等の公共土木施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ライフラインである町道、歩道、駐車場及び橋りょうについて適切な維持管理を行うことで安全性の確保や施設の長寿命化を図る。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 住民への円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、居住環境を確保する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 維持補修実施件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路延長	km
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 維持補修実施率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	141,412,021	156,819,247	186,727,736	165,843,000	165,843,000	165,843,000
	事業費計(A)	円	141,412,021	156,819,247	186,727,736	165,843,000	165,843,000	165,843,000
	正職員従事人数	人	3	4	4	5	5	5
	人工数(業務量)	人工	1,3481	1,6062	1,6601			
人件費	円	10,487,632	12,525,071	13,311,427				
トータルコスト(A+B)	円	151,899,653	169,344,318	200,039,163				
活動指標	①	件	493	506	782	500	500	500
	②							
	③							
対象指標	①	km	923	923	923	923	923	923
	②							
	③							
成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	47.9	52.2	52.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成27年から道路施設維持管理業務を民間委託し、道路及び河川のパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び河川環境保全の向上を目指している。本委託業務を実施してから5年が経過し、その間に受託業者と意見交換や情報共有を行ない、業務内容の追加、見直しを実施したことから、業務内における工種については概ね確定したものとする。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路施設維持管理業務内容(工種)が概ね確定したことから、今後は継続的な業務を実施するため、受託業者と密に打合せや定例会を開催し、業務内容を精査することで道路維持管理の徹底化を行い、道路利用者など第三者被害防止と円滑な道路交通網の確保を図る。 また、経年劣化に伴う公共土木施設の破損が著しいことから、H30に策定した道路マスタープランに基づく「道路整備規準」により、整備延長の推進とコスト縮減の観点から効率的かつ安全性に配慮した整備手法を検討し、維持修繕計画を立てる。
--	---

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	町道認定・廃止事務	所属 部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

町道の認定及び廃止等を行う。

[2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法]

引き続き、適宜町道の認定及び廃止等を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.0139	0.0092	0.0000			
		人件費計(B)	円	108,136	71,741	0			
		トータルコスト(A+B)	円	108,136	71,741	0			

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	堤内地水害対策事業(水路の強制排水等)	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

- ・台風及び大雨などの影響で堤内地の流水が水位上昇した場合、強制排水により増水を未然に防止するとともに、樋門樋管の適切な維持管理に努め、堤内地を水害から守る。
- ・水害など災害時の道路や河川の修繕資機材、規制資機材、救命資機材の備蓄管理を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

引き続き、大雨時等には強制排水により堤内地を水害から守る。  
また、水害などの備蓄資機材等についても、引き続き適切な備蓄管理を行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円	1,578,494	1,706,622	1,741,640	1,734,000	1,734,000	1,734,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	623,066	624,727	618,620	624,000	624,000	624,000
	一般財源	円	895,139	998,899	300,746	1,312,000	1,312,000	1,312,000
	事業費計(A)	円	3,096,699	3,330,248	2,661,006	3,670,000	3,670,000	3,670,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
	人工数(業務量)	人工	0.2268	0.2171	0.2149			
	人件費計(B)	円	1,764,405	1,692,935	1,723,165			
トータルコスト(A+B)		円	4,861,104	5,023,183	4,384,171			

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	土木車両維持管理事業	所属 部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 町道及び公共駐車場等の維持管理を行うために、土木車両運転手を採用し、ダンプ・グレーダー・ショベル・草刈車両等の土木車両維持管理を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、土木車両運転手を採用し、土木車両の維持管理についても適切に行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	323,568	756,887	954,382	987,000	987,000	987,000
		一般財源	円	18,215,592	25,817,569	21,135,062	20,234,000	20,234,000	20,234,000
		事業費計(A)	円	18,539,160	26,574,456	22,089,444	21,221,000	21,221,000	21,221,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.2734	0.2715	0.2692			
		人件費計(B)	円	2,126,933	2,117,144	2,158,566			
		トータルコスト(A+B)	円	20,666,093	28,691,600	24,248,010			

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	道路・河川パトロール事務	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

住民の円滑な道路交通網の確保、河川環境の保全及び居住環境の確保を図るため、資機材等の運搬に必要なシングル・ダブルキャブを維持するための事務である。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

道路及び河川のパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、向上を目指すため、今後についても維持管理を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	980,159	699,169	878,495	741,000	741,000	741,000
		事業費計(A)	円	980,159	699,169	878,495	741,000	741,000	741,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.3099	0.3190	0.2833			
		人件費計(B)	円	2,410,887	2,487,547	2,271,627			
		トータルコスト(A+B)	円	3,391,046	3,186,716	3,150,122			

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	道路・河川等整備要望事務(国・道)	所属 部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 国及び北海道が管理している道路・河川の改修や新設要望を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、国及び北海道に対し、強く要望を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
人工数(業務量)		人工	0.0169	0.0078	0.0005				
人件費計(B)		円	131,475	60,824	4,009				
トータルコスト(A+B)		円	131,475	60,824	4,009				



2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	道路橋りょう事務	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

- ・職員の土木技術の知識向上のため、各種講習会へ参加
- ・道路関連団体への負担金支出
- ・道路及び橋りょう台帳を管理し、道路改良実施路線の台帳更新を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

引き続き、各種講習会に参加し、土木技術の知識向上を図る。  
また、課内の関係各係と連携を密にし、適切な台帳管理及び更新を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	44,000	0	34,400	44,000	44,000	44,000
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	11,029,821	10,884,682	10,870,170	10,541,000	10,541,000	10,541,000
		一般財源	円	-6,264,002	-4,388,562	9,179	-967,000	-967,000	-967,000
		事業費計(A)	円	4,809,819	6,496,120	10,913,749	9,618,000	9,618,000	9,618,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.1708	0.1538	0.1541			
		人件費計(B)	円	1,328,750	1,199,325	1,235,643			
		トータルコスト(A+B)	円	6,138,569	7,695,445	12,149,392			

事務事業名	町道・歩道・駐車場等除排雪事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町道の通行・安全を確保するための除排雪事業。 除排雪の委託、町道・歩道・公共駐車場の除排雪及び吹き溜まり除雪を行っている。
2. 対象(何を対象にしているか) 除雪を実施する町道、歩道及び駐車場
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 降雪時に除雪を行ない通行の安全を確保する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安全な通行の確保が図れる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 道路延長	m
② 歩道延長	m
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 除雪道路延長	m
② 除雪歩道延長	m
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 除雪道路率	%
② 除雪歩道率	%
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	99,770,400	54,216,000	62,282,000	56,408,000	56,408,000	56,408,000
	事業費計(A)	円	99,770,400	54,216,000	62,282,000	56,408,000	56,408,000	56,408,000
	正職員従事人数	人	3	4	4	5	5	5
人件費	人工数(業務量)	人工	0.3016	0.3743	0.1553			
	人件費計(B)	円	2,346,317	2,918,773	1,245,265			
	トータルコスト(A+B)	円	102,116,717	57,134,773	63,527,265			
活動指標	①	m	922,700.00	922,705.36	922,702.18	922,702.18	922,702.18	922,702.18
	②	m	109,739.18	110,849.37	111,442.43	111,442.43	111,442.43	111,442.43
	③							
対象指標	①	m	666,300	667,800	663,100	663,100	663,100	663,100
	②	m	72,200	72,200	72,200	72,200	72,200	72,200
	③							
成果指標	①	%	72.2	72.3	71.9	71.9	71.9	71.9
	②	%	65.8	65.1	64.8	64.8	64.8	64.8
	③							
上位成果指標	①	%	47.9	52.2	52.7	70.7	70.7	70.7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 道路利用者の安全を確保するため、迅速に町道等について除排雪を行う必要がある。 また、除排雪に関する町民からの要望が多様化・増加傾向にあることから、通勤・通学時間に除雪が間に合うよう降雪状況に合わせて、直営と委託業務により、きめ細かい除雪を行うとともに、除雪開始時間の調整等の柔軟な対応を行う必要がある。 また、近年の降雪時期の早期化に伴い、平成30年度から委託開始を1ヶ月前倒し、11月から最低保証契約として実施している。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 町民からの要望、要求に対応すべく、委託業務の拡大の有無を検討する。
--	--

2020年度(2019年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	町道・歩道・駐車場等除排雪事業	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約	冬期間の安全安心な交通環境確保のため、除雪機械の充実と効率的な作業体制の構築、除雪方法の検討を進めます。	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・町道の通行・安全を確保するための除排雪実施のための車両整備、除雪車両運転臨時職員を採用している。 ・町道、公共施設の除排雪を実施するため、除排雪計画を策定する。
2. 対象(何を対象にしているか) ・除雪実施町道及び歩道、除雪車両
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・降雪時に除雪を行い通行の安全を確保 ・迅速な除雪作業を行うために、車両を良好な状態に保つ。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・安全な通行の確保が図れる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 道路延長	m
② 歩道延長	m
③ 除雪車両運転臨時職員	人

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 除雪道路延長	m
② 除雪歩道延長	m
③ 除雪車両台数	台

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 除雪道路率	%
② 除雪歩道率	%
③ 事業費	円

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	3,512,179	3,245,051	3,361,984	4,106,000	4,106,000	4,106,000
	一般財源	円	75,617,157	85,080,671	70,358,419	87,814,000	87,814,000	87,814,000
	事業費計(A)	円	79,129,336	88,325,722	73,720,403	91,920,000	91,920,000	91,920,000
	人件費							
正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5	
人工数(業務量)	人工	0.4969	0.4641	0.4706				
人件費計(B)	円	3,865,666	3,619,030	3,773,482				
トータルコスト(A+B)	円	82,995,002	91,944,752	77,493,885				
活動指標	①	m	945,561.26	944,595.97	922,702.18	922,702.18	922,702.18	922,702.18
	②	m	109,739.18	110,849.37	111,442.43	111,442.43	111,442.43	111,442.43
	③	人	16	14	14	16	16	16
対象指標	①	m	666,300.00	667,800.00	663,100.00	663,100.00	663,100.00	663,100.00
	②	m	72,200.00	72,200.00	72,200.00	72,200.00	72,200.00	72,200.00
	③	台	24	24	24	24	24	24
成果指標	①	%	70.47	70.70	71.87	71.87	71.87	71.87
	②	%	65.79	65.13	64.79	64.79	64.79	64.79
	③	円	79,129,336	88,325,722	73,720,403	91,920,000	91,920,000	91,920,000
上位成果指標	①	%	-	-	52.7	70.7	70.7	70.7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 冬期間における町道の交通確保のためには、効率的・効果的な除排雪を行うことが必要である。そのため、除排雪計画を策定し、迅速な雪処理を行っている。しかし、除雪に対する住民ニーズは多様化・複雑化し、対応が求められている。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 住民ニーズの多様化・複雑化に対応した、持続可能な除排雪体制の構築を進める。 また、効率的・効果的な除排雪を目的とした、ICT(情報通信技術)導入の検討を進める。
--	--

事務事業名	横断歩道橋維持管理・除排雪事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 巡回警備は1日3回、歩道橋、エレベーターは1日1回、ガラス清掃は年2回委託、エレベーター点検は月1回の遠方監視の委託、除排雪作業の委託</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 不特定多数の通行人、車いす利用者及びJR北海道旅客等車両</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 清掃回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路利用者(町民)	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 通行止め期間	日
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	1,765,861	1,841,917	1,843,013	2,400,000	2,400,000	2,400,000
	事業費計(A)	円	1,765,861	1,841,917	1,843,013	2,400,000	2,400,000	2,400,000
	正職員従事人数	人	3	4	4	5	5	5
人件費	人工数(業務量)	人工	0.0684	0.0519	0.0698			
	人件費計(B)	円	532,122	404,714	559,688			
	トータルコスト(A+B)	円	2,297,983	2,246,631	2,402,701			
活動指標	①	回	365	365	365	365	365	365
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
	②							
	③							
成果指標	①	日	0	0	0	0	0	0
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	47.9	52.2	52.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、令和元年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、利用者の安全性を考慮し、エレベーターを更新する必要がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 「めむろーど」及び駅舎と一体化した管理委託を行うことについては変更はない。 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、令和元年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、更新計画を立てる。</p>
--	--

事務事業名	街灯維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 市街地・郊外地における照明灯の球切れ等の修繕及び照明灯の改築工事を実施する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 修繕対象街灯設置数</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 定期的なパトロールの実施により球切れ等の現状を把握し、適切な修繕を行うことにより、道路利用者の事故を未然に防止するなど安全性を向上させる。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 市街地や郊外地の公共土木施設付近(橋りょう)や局部照明の設置により、事故が減少し、道路利用者の夜間における安全性が確保される。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 修繕発注件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 修繕発注件数	件
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 道路利用者(町民)	人
② 修繕発注電球数量	個
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	80,468,696	82,030,778	79,786,984	76,080,000	76,080,000	76,080,000
	事業費計(A)	円	80,468,696	82,030,778	79,786,984	76,080,000	76,080,000	76,080,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.1953	0.3166	0.4953			
		人件費計(B)	円	1,519,349	2,468,832	3,971,538			
	トータルコスト(A+B)		円	81,988,045	84,499,610	83,758,522			
	活動指標	①	件	43	64	36	40	40	40
②									
③									
対象指標	①	件	43	64	36	40	40	40	
	②								
	③								
成果指標	①	人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430	
	②	個	566	236	96	100	100	100	
	③								
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-	
	②	%	47.9	52.2	52.7	70.7	70.7	70.7	
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 照明灯は年々老朽化していることから年次計画により、省エネや長寿命化を図るためLEDへの改築工事を行い、灯具の電柱添架により事業費の軽減を図る。また、ランプの球切れの際には省エネ効果の高いセラミック電球や長寿命化ナトリウム電球に交換するとともに、倒壊等の恐れのある照明柱は速やかに撤去し、第三者被害防止の措置を行い、電柱添架により設置する。</p>	<p>2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 今後においても年次計画により緊急性の高い路線から省エネや長寿命化を図るためLEDへの改築工事を行う。その際には、電柱への添架等により事業費の軽減を図る。また、倒壊等の恐れのある照明柱は速やかに撤去し、第三者被害防止の措置を行い、安全性を向上させる。</p>
--	---

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	国有財産取得・管理事務	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 法定及び法定外公共物の取得、売払等の財産管理を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、法定及び法定外公共物の財産管理を適宜行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	52,554	0	732,676			
		一般財源	円	-52,554	0	-732,676	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.0336	0.0223	0.0264			
		人件費計(B)	円	261,393	173,894	211,687			
		トータルコスト(A+B)	円	261,393	173,894	211,687			

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	砂利採取事務	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 根拠法令に基づき、砂利採取の事前協議、採取計画認可、計画変更の協議を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、根拠法令に基づき事前協議等を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5
		人工数(業務量)	人工	0.0210	0.0212	0.0209			
		人件費計(B)	円	163,371	165,317	167,586			
		トータルコスト(A+B)	円	163,371	165,317	167,586			